



# 森の王様



～新章～

horizonblueberry

## 森の王様～新章～

---

それは人間の声でした。

ハイエナは薄れゆく意識の中、近くに來た人間の言葉を耳にしました。

「なんだ。ただのハイエナか。」

森でハイエナは目を覚ましました。

人間に銃で撃たれたはずでしたが、ハイエナの体はなんともありません。

ウサギがやってきたのでハイエナはウサギに言いました。

「俺は森の王ハイエナだ！俺の方がライオンより強いんだ！」

ウサギはいいました。

「そうです。この森で一番強いのは、ハイエナさんです。」

しばらくしてジャングルを出たハイエナは人間に銃で撃たれてしまいました。

再び森で目をさましたハイエナの身に何度も度同じことが起きました。

ハイエナはついに何度も自分が同じ目にあっていることに気が付いたのです。

いつもと同じようにウサギがやってきます。

ウサギが原因かもしれないと思ったハイエナは少し後ろにさがってウサギに聞きました。

「俺は森で一番強いのか？」

「ええ。ハイエナさんだと思います。」

ハイエナは答えを聞いてはみたものの、自分が森の王だと自身を持って言えませんでした。

ハイエナはジャングルで生き方を教わったライオンの様子を木陰からみることにしました。

ライオンは威張り散らすことはなく、道を譲ってくれた動物に礼すら言いました。

時にはあろうことか困っている小さな動物や年老いた動物を助けました。

ライオンほどの強い動物がなぜそんなことをするのかハイエナにはわかりません。

それから大人しくなったハイエナにウサギの子供が近寄ってきました。

始めは邪魔に思っていたハイエナですが、まんざらでもありません。

あるとき突然の銃声に驚いたウサギの子供がジャングルの外に飛び出してしまいました。

ハイエナは一瞬迷いましたが、すぐに後を追ってジャングルの外に飛び出しました。

銃を向けている人間への恐怖で動けなかったウサギの子供をハイエナは助けました。

しかし、人間の銃が今度はハイエナに向けられたのです。

ウサギの子供を森に逃げ込ませて安心したハイエナはついに観念しました。

ところが銃声はしたものの、その弾は空を切りなぜかハイエナに当たりませんでした。

ライオンが人間を追いつめたのです。

ハイエナがライオンに心から頭を下げるとライオンは言いました。

「かつて私もお前と同じだった。次はお前が森の王だ。」

そう言うとライオンはどこかへと姿を消しました。

そして森で最後のライオンは二度とその場所に戻ることはありませんでした。